

# 学 校 保 健

JAPANESE SOCIETY  
OF  
SCHOOL HEALTH

平成10年11月1日

No. 224

(財)日本学校保健会ホームページアドレス  
<http://www.hokenkai.or.jp/>

(財)日本学校保健会



## 日本学校保健会のホームページ開設

学校保健に関する情報委員会 委員長 江 口 篤 壽

昭和47年の保健体育審議会答申を受けて、本会に設けられた学校保健センター的の事業が20年以上の活動の実績を評価されて、学校保健センター事業と改称されました。

さらに、同答申の中で、本会がわが国における学校保健の情報センターとしての機能を持つことも期待され、本会でもその一環として、本年9月、インターネットにホームページを開設しました。

本会は国や地方自治体と協力して、学校に通っている子ども達の健康の保持増進を図るための活動をおこなっており、これまでも、いろいろな機会、媒体を通して、情報を提供してまいりました。今回、インターネットの特性の一つである双方向性を活かして、市町村教育委員会や、学校、家庭からも、本会に意見や問題を提起することが可能となりました。これを積極的に活用することによって、学校、地域、家庭が緊密に連携して、学校保健の一層の推進を期待しております。

(財)日本学校保健会ホームページアドレスは次の通りです。

保健会HP ……<http://www.hokenkai.or.jp/>

エイズ教育情報ネットワークホームページアドレス

エイズOPEN ……<http://www.hokenkai.or.jp/HIV/>

エイズCUG ……<http://www.hokenkai.or.jp/MBHIV/>

※CUGについてはネットワークID取得者のみ開くことができます。

目 次	
日本学校保健会のホームページ開設	…1
「望ましい生活習慣づくり」についての小冊子発行に向けて	…2
「望ましい生活習慣づくり」の内容について	…3
Q&A	
生活習慣病について	…4
北から南から	
青森県・名古屋市・北九州市	…6
今日の話題「学校伝染病」	…7
平成10年度 日本学校保健会編 図書一覧	…7

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

乞御回覧	校 長	教 頭	保健主事	養護教諭	P T A	会 長	副会長	

## ゆたかな身体と心を育むための「望ましい生活習慣づくり」 についての小冊子発行に向けて

児童生徒の健康状態サーベイランス委員会 委員長 平 山 宗 宏

筆者の記憶の限りでは、子どもたちの睡眠、食事、運動などにわたる生活実態、すなわち、ライフスタイルの全国的調査がはじめられたのは1980年(昭和55年)に厚生省が十年ごとに実施している乳幼児身体発育値の調査に際して「幼児健康度調査」を行い、その翌年に日本学校保健会が児童生活についての生活実態調査を行ったのが始まりである。換言すればこの頃から子どもたちのライフスタイルが心身の健康に関連して気がかりになり始めたといえるだろう。

その後幼児については1990年(平成2年)に二回目の調査が行われたが、文部省ではこの頃から注目を集めていた生活習慣病(当時は成人病と呼んでいた)やアレルギー疾患と児童生徒のライフスタイルの実態ならびにその関連について縦断的な調査を継続的に調査し、子どもたちの健康の確保・向上に資することを企画し、学校健康教育課の英断と努力でこの事業が実現したのであった。生活習慣病のリスクファクター、各種アレルギー疾患、生活実態と幅広い調査を行うために、それぞれの分野の専門家からなる委員会が日本学校保健会に設立され、一年余りの準備期間の後に調査が開始され、平成4年、5年、6年の連続三年間の調査結果が報告書にまとめられた。

この調査には生活習慣病のリスクファクターとして、血中コレステロール値などの採血を要する検査や血圧測定の結果などを盛り込む必要があったので、全国の学校からアトランダムに選んでお願いすることはできず、たまたま市町村や学校医の努力でこれらの検査を実施していた学校の中から、なるべ

く全国規模で協力をお願いする形式がとられた。

その後は当初の計画通り、一年おきに同様の調査を繰り返す方針が実施され、平成8年度実施分は既に報告書が出され、10年度はこれから調査を行うことになっている。

このように生活習慣病のリスクファクターから子どもたちのライフスタイルに至るまでの広い範囲の調査を、毎年数千人規模で行うことができているのも、調査に協力いただいている各学校のご理解とご援助のおかげであり、厚くお礼申し上げる。

さてこのようにして延べ4年間の成績が蓄積され、実態が明らかにされつつあるので、これらの結果をもとに児童生徒たちのライフスタイルをよい方向に改善していくために役立つ「ゆたかな身体と心を育むための望ましい生活習慣づくり」についての手引きを、現委員会の仕事として行うことになった次第である。

例えば、睡眠不足気味の子どもたちにもっと睡眠をとれと勧めれば実行して貰えるというものではないが、折りあるごとに子どもたちに病気の予防の意義、そのための健康によい生活習慣のあり方を教えていただき、子どもたちがそれらを知識として理解するだけでなく、自分自身実行できる能力を身につけるよう指導して下さるようお願い申し上げます。

このヘルスプロモーションの実行が、これから本当に重要になる健康教育であり、ひいてはわが国の将来を決める鍵になると信じている。中教審の心の教育に関する答申でいう学校、家庭、地域が一体となって進めなければならない心の健康も、子どもたちのライフスタイルに負うところが大きいのである。



# 「望ましい生活習慣づくり」の内容について

児童生徒の健康状態サーベイランス委員会委員 大 澤 清 二

ライフスタイルが生活習慣病を始めとする多くの健康障害の基本的要因になっていることは、誰しも認めるところである。ところが、いざ児童生徒を対象としてライフスタイルの改善するにはどのようなすべきか、ということになると意外に体系的に整備された知識や技術は乏しい。古く養生法とか筆者がかつて提案したことのあるヘルス・クオリティ・コントロール(HQC)とか、民間療法の類とかがあるが、ライフスタイル改善のためのスタンダードなマニュアルがないのである。周知のように平成4年に開始された「児童生徒健康状態サーベイランス」では、その内容にリスクファクター、アレルギー症状と並んでライフスタイルについての項目が多く盛り込まれている。

この調査によって現代っ子のライフスタイルが客観的に把握されており、問題点も明らかになっている。一例を示せば、宵っぱりの朝寝坊、夜食と朝食スキ、運動不足、生活リズムの乱れなどである。

今年度出版予定のマニュアルでは以下のような内容となっている。

## 〈目次〉

### I. 運動

1. 現代社会と運動不足
  - (1) 日常的な運動不足
  - (2) 問題点
2. 運動の効果
3. 成長に応じたいろいろな運動の提案
  - (1) 発育と運動機能発達
  - (2) 子どもの運動の現状
  - (3) 具体的な提案
4. 運動の習慣化
  - (1) 運動の必要性の教育
  - (2) 運動の場や機会の提供
5. 成長期に特有な注意点
  - (1) 身体のいろいろな部位を使う複数の運動の身体活動を行う
  - (2) スポーツ障害の予防
  - (3) 運動時の突然死の予防

### II. 食生活

1. 食生活の現状と問題
  - (1) 現状
  - (2) 問題点
2. 6つの基礎食品とその働き
  - (1) 体をつくる食品
  - (2) 体の調子を整える食品
3. 食生活改善の目的と効果

### 4. 具体的な食事指導

- (1) いろいろな食品を組み合わせる
- (2) 1日3回の食事を規則的に
- (3) おやつは質と量を考えて規則的に
- (4) 食事は楽しく
- (5) 家族の協力
- (6) ダイエット

### III. 疲労について

#### 1. 疲労の種類

- (1) 肉体疲労と精神疲労
- (2) 急性疲労と慢性疲労
- (3) 全身疲労と局所疲労

#### 2. 疲労はどのようにしてわかる？

- (1) 自覚症状
- (2) 他覚症状
- (3) 疲労を回復するには休養が必要
- (4) 回復しやすい疲労としにくい疲労

#### 3. 疲労の回復

- (1) 適度の休養
- (2) 入浴・マッサージ
- (3) 栄養をきちんととる
- (4) 睡眠による疲労回復
- (5) 精神疲労が強すぎると脳が興奮して眠れなくなる
- (6) 何時間の疲労が最適か
- (7) 睡眠環境と体調をつくる

### IV. ストレスをやわらげる

#### 1. ストレスとは

2. 児童生徒のライフスタイルに関わるストレス
  - (1) 児童生徒に関わること
  - (2) 家庭生活に関わること

#### 3. ストレスのサイン

#### 4. ストレス・マネジメントの方法

- (1) 休養によるストレス・マネジメント
- (2) 運動によるストレス・マネジメント
- (3) 食事によるストレス・マネジメント
- (4) 音楽によるストレス・マネジメント
- (5) 会話によるストレス・マネジメント
- (6) 環境変化によるストレス・マネジメント

### V. 生活のリズム 健康的に過ごすために

#### 1. 24時間リズムを見直そう

- (1) 生活行動のポイント
- (2) 生活リズムは規則正しく

#### 2. 夜型生活と学校生活とのかかわり

- (1) 児童・生徒の睡眠の現状
- (2) 睡眠不足を感じている理由

- (3) 睡眠不足の弊害
- (4) 睡眠が生活リズムに与える影響
- 3. 朝食をとろう
- 4. 規則正しい排便
  - (1) 排便についての現状
  - (2) 排便の大切さ
  - (3) 食べ物の摂取から消化・吸収まで
  - (4) 排便を促す生活習慣
- 5. 運動と生活リズム
  - (1) 健康生活に運動が必要なわけ
  - (2) 適切な運動とは
- 6. 帰宅後の生活
  - (1) 学校から帰宅後、室内で過ごした状況
  - (2) テレビ・ゲーム・パソコンを健康的に楽しむために
  - (3) 音楽鑑賞などで注意すること
  - (4) 健康生活に、お手伝いのかくれた効果
- 7. お友達とのふれあい
- VI. 清潔の習慣
  - 1. なぜ清潔の習慣は大切か
  - 2. 感染症を理解するための基礎知識
    - (1) 感染経路
    - (2) 感染症予防の原則
    - (3) 感染症予防の基礎となる保健習慣の意義
      - ①手洗い
      - ②うがい
      - ③トイレ

- ④身体の清潔（入浴・洗髪・洗面）
- ⑤口腔の清潔（歯みがき）
- ⑥衣服、下着の清潔
- ⑦掃除、ゴミの処理

## 資料編

## 生活習慣病

1. 生活習慣病とは
2. なぜ生活習慣病にかかるのか
3. 生活習慣病対策の実際

- (1) 肥満
- (2) 高血圧
- (3) 高脂血症
- (4) 運動不足と骨粗鬆症
- (5) たばこ
- (6) お酒

## 疾病の予防と対応

- (1) 近視、遠視、乱視、疲れ目
- (2) 食中毒、細菌性下痢、細菌性胃腸炎
- (3) 便秘
- (4) 心臓病
- (5) 起立性調節障害
- (6) 身体の不調、心身症
- (7) 喘息
- (8) 花粉症、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎
- (9) 小児糖尿病



## —生活習慣病について—

児童生徒の健康状態サーベイランス委員会 委員 大澤清二

## Q1 生活習慣病とは何ですか？

A 「望ましい生活習慣づくり」・マニュアルでは村田光範教授がこの項を担当しており、次のように紹介している。

生活習慣病とは、従来成人病とっていた病気の中で今後さらに重要になってくる生活習慣と深く結びつく部分、端的には動脈硬化促進を強調したものである。動脈硬化を促進する危険因子（以下、単に危険因子）は別表1のようである。この危険因子は小児期からの生活習慣（ライフスタイル）と関わりがあり、食生活の乱れ、運動不足などが動脈硬化を促進する傾向にある。

生活習慣病の実際は、①食事、②運動、③休養の3つのライフスタイル要因コントロールにある。「望ましい生活習慣づくり」・マニュアルでは、具体的に肥満、高血圧、高脂血症、運動不足、たばこ（喫煙）、お酒（飲酒）について解説している。

## Q2 肥満と生活習慣についてその改善方法は？

A 学校保健統計調査報告書によると、現在では児童・生徒のおよそ10%が肥満傾向を示している。

肥満は、体重を目安にして判定している。体重が肥満の指標となるのは、体重を体脂肪重量と除脂肪重量とに分けて考えているからである。短期間に、体重が異常に増加した場合は、筋肉、脳、内臓、骨格などの除脂肪重量が増加するのではなく、体脂肪重量が増加したと考えられる。しかし、スポーツ選手などは、体重が異常に重くても肥満しているとはいえないことがある。

肥満児の多くは幼児期に発症しているので、現在では小児肥満対策は幼児期から行うことが重要だといわれている。子どもの肥満に良性肥満と悪性肥満とがある。この両者を正確に区別して肥満対策を行う必要がある。多くは4～5歳頃から体重が異常に増え始め、いったん体重が増え始めるとその傾向がいつそう強くなるもので、肥満がもたらす健康障害である高血圧、高脂血症、心肺機能低下などを高頻



別表1 小児期の動脈硬化促進危険因子

1. 高 血 圧
2. 高 脂 血 症
3. 低 HDL- コレステロール血症
4. 肥 満
5. 糖 尿 病
6. ス ト レ ス
7. 運 動 不 足
8. 喫 煙 習 慣
9. 家 族 性 因 子
  - 家族性高脂血症
  - 心筋梗塞、脳梗塞の家族歴
  - 肥満傾向
  - 糖尿病罹患傾向など

(村田による)

脂肪肝、心肺機能障害、成人型糖尿病などを示す場合である。食事制限は、肥満児自身が10歳を過ぎてからでないとそのプログラムを理解できないといわれる。それ以前では、特に家族全体が一丸となって協力する必要がある。食事療法の基本は、「よくかんで食べること」、「魚、豆腐、緑黄色野菜など」、「甘さ、辛さの味付けを薄味にすること」といった食習慣を身につけることである。しかし、幼児から小学校低学年までは肥満による合併症がない限り、体重の増減はあまり問題にならない。つまり、体重減少は食習慣や運動習慣など生活習慣の改善の結果である。

一方、運動によって肥満を改善する方法がある。一般に、日常的な身体活動の不足を家事労働などで解決することは困難である。そこで、肥満児の運動療法としてスポーツを通じて行う必要がある。肥満児に最も適したスポーツは水泳を含めた水遊びである。①水中では急に動き出せないし、急に方向も変えられない、②水中では浮力がついて身のこなしが軽くなる、③醜い身体の大部分が水中に隠れるので容姿を気にすることなく遊べる、④いろいろな水中の遊びがあるので、それぞれの遊びの得手不得手に多様性があると村田は指摘している。このような条件が水遊びにはあるので、長時間水の中で遊んでい

度を示す。肥満対策の実際としては、食事療法がまず考えられる。対象になる肥満児は極めて少なく、それは、肥満により誘発された高脂血症、高血圧、

ることができる。肥満児に対する運動療法は、体重を効果的に減少させ、しかも日常生活の中で運動習慣を身につけさせることが目的である。

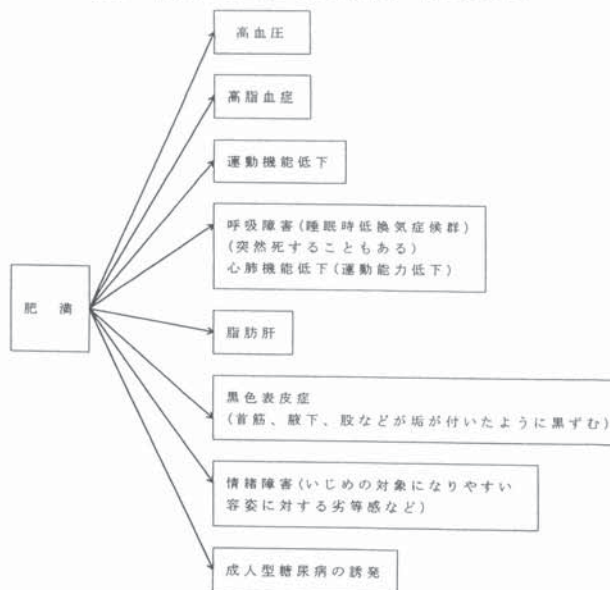
**Q3 生活習慣と子どもの健康について簡単に説明してください。**

**A** 運動不足や発育期のカルシウム摂取量が減少すると壮年期を過ぎてから骨粗しょう症が進行しやすいのではないかと心配されている。運動不足は筋だけでなく骨も脆くする。思春期から20歳の前半頃までに骨の強さが決まってしまう、それ以降は運動や食事に気をつけても骨はあまり強くならないといわれていることから、児童生徒の運動は骨粗しょう症の予防にも役立つ。

たばこは、大きな動脈硬化促進危険因子である。中学生の30%、高校生の60%がたばこを吸った経験をもっている。たばこは間接的に運動ぎらいや学習意欲を阻害する。

食生活の乱れも子どもの健康を蝕んでいる。特に夜食や朝食スキの習慣は、やがて成人になってからのライフスタイルにつながるの、特に保健指導が必要である。

図1 肥満から生じる健康障害 (村田による)



**虎の門 (47)**

**青少年の体位向上と問題点**

戦後、青少年の体位が回復して上昇カーブに乗ったのは昭和30年代の中期(1960年頃)で、以後あきらかに上昇に転じている。明治以来、順調に伸びてきた体重増減の折線は昭和25年(1950年)頃に谷底となっているが、これは戦中・戦後の食糧事情悪化の影響を強く示している。

またその後の回復のレベルでも

北陸の一地方では体重50kgに達するのに18歳までかかっている(男子 1953年)。それに比べて最近の全国的データでは身長160cm、体重50kgを超えるのが男女ともに14歳であり、著しい伸びといえる。

しかし問題がないわけではない。四肢に比べて座高(主として躯幹を含む)の伸びはあまり変わらない。すなわち内臓部分の成長はそ

れほどでもないといえよう。

さらに少年期の「肥満」は生活習慣病の一因とも考えられ、また過度の「ダイエット」は正常な成長を妨げ種々の弊害を起す可能性がある。やはりバランスのとれた栄養摂取、適度な運動こそ日本の青少年男女の心と身体の成長に必須なものであろう。

(編集委員 竹田 鎧)



## 北から南から

## 青森県学校保健会の活動

### 青森県学校保健会事務局

本会は、昭和22年の発足で、平成8年に創設50周年を迎えました。本会は、現在、11郡・市学校保健会と5つの部会で組織され、県教育庁スポーツ健康課が事務局を務めております。

近年、生活習慣病の低年齢化をはじめ、肥満、高脂血症等の問題が深刻化しておりますが、これらは、食習慣が大きく関与していることから、本会では、昨年より、これまで別個に開催しておりました学校保健研究大会と学校給食研究大会を統合し、「学校保健・学校給食研究大会」とし、総合的に健康教育を捕え、問題解決の方策を見い出すこととしました。

なお、本会は、財団法人化の道を探るため平成7年度より検討委員会を重ねておりましたが、今年度から、法人化に必要な基本財産五千万円を、三師会及び学校教職員をはじめ父母、協賛会社等からの募金で賄うこととし、向こう五年間の募金活動を開始いたしました。

## 名古屋市学校保健会の活動

### 名古屋市学校保健会事務局

本会は昭和21年発足の名古屋市学校衛生会を前身に、昭和25年に名古屋市学校保健会として発足した。以来、学校保健の研究並びに普及発達を図ることを目的に、三師会、学校及び地域社会との連携のもと、主に次の事業を進めている。

#### 1. 学校保健研究大会の開催

名古屋市教育委員会との共催で、学校保健関係者が一丸となって学校保健、安全の組織、管理、指導の各活動推進に努め、優秀な成果を取めた学校を表彰するもので、今年度で31回を迎える。表彰式の後には、時代の要請に合ったテーマで講演会などを行っている。

#### 2. 教育医学（名古屋）の発行

広く学校保健関係者に活用され、児童生徒の健康の保持増進の一助となることを目的に年1回刊行している。その内容は、学校保健会会員の投稿に

よる学校における保健指導や専門的な調査研究に関する論文と、学校保健関係者による座談会などからなっている。

#### 3. その他

新任学校医等に対する研修会や、全国学校保健研究大会・十三大都市学校保健協議会等への会員の派遣など、学校保健の充実発展を目指している。

## 北九州市学校保健会の活動

### 北九州市学校保健会事務局

本会は、地域別の5支部と8部会（学校医・学校歯科医・学校薬剤師・校長・教頭・保健主事・養護教諭・PTA）で構成し、主に次の活動を行っている。

#### 1. 支部・部会活動

学校医部会は、学校保健委員会、検診部会（心臓検診、腎臓・糖尿検診、脊柱側弯症検診）を開催、諸問題を検討している。学校歯科医部会は、毎年「歯の衛生週間の集い」と市と共催で実施し、表彰、検診、ブラッシング指導、フッ素塗布等を行っている。また、学校薬剤師部会は、グレア、保健室内空気環境、学校便所の実態などを調査し、学校環境衛生の整備に貢献している。養護教諭部会においては、地区ごとの学習会や全員研修会を実施し、シンポジウム、分科会などで情報を共有している。

その他の部会や各支部においても講演会、研修会等を通して学校保健関係者の資質向上を図っている。

#### 2. 学校保健大会

毎年小学校または中学校を会場として開催している。内容は、学校保健優良学校・学校保健功労者・功労団体の表彰、公開授業、講演等である。

#### 3. 大会・協議会等への派遣

全国学校保健研究大会、十三大都市学校保健協議会等へ派遣し、他都市との交流及び情報の収集に努めている。

#### 4. 会報誌の発行

「北九州市の学校保健」を発行し、各学校・学校保健関係者へ、情報の提供を行っている。

## 今日の話題「学校伝染病」

「学校保健」編集委員会 委員長 内藤 昭三

100年来の伝染病予防法を廃止し、新たに国会で審議されていた「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が9月25日成立した。

新法の制定に伴い、学校で予防すべき伝染病に関する事項の見直しなどの検討が必要になった。新法というべき感染症予防・医療法は、感染症を感染力や重症度によって1類から4類まで大別し、さらに新感染症という項目を取り上げ4類とするとともに患者の人権を配慮しながら、感染の拡大を防ぐ趣旨に改めたからである。その改正をうけて、現行の学校保健法で規定されている伝染病の予防（法律の第

12条～第14条、施行令第5条～第6条及び施行規則第19条～第22条）に関し、学校で予防すべき伝染病の種類や出席停止の期間の基準をどう見直すのか、また伝染病の予防に必要な措置の削除などが検討され、大きく改変されることになった。新しい感染症の出現や保健医療を取り巻く環境の変化が今回の改正を生んだといえよう。いま日本学校保健会では医学的並びに教育的見地から、新しい学校伝染病への理解を得るため、解説書作成等委員会を設け、その円滑な実施に努力している。

## 平成10年度 日本学校保健会編

### 図書一覧

No	書 名	判・頁・定価
1	学校保健の動向 —平成10年度版—	A 4・ 頁 2,760円
2	高等学校 保健指導の手引	A 5・ 278頁 1,896円
3	第2版 腎臓手帳	B 6・ 64頁 350円
4	—2版—学校心臓検診の実際 —スクリーニングから管理まで—	A 5・ 200頁 1,100円
5	第2版 心臓手帳	B 6・ 64頁 350円
6	知っておきたい脊柱側彎症 [新版] —脊柱検診のしおり—	A 5・ 72頁 700円
7	糖尿病手帳	B 6・ 62頁 250円
8	学校における糖尿病の管理指導 —小児糖尿病の手引—	B 6・ 113頁 1,100円
9	改訂 学校検尿のすべて	B 5・ 140頁 1,300円
10	(新訂) 喫煙、飲酒、薬物乱用防止に 関する指導の手引 (中学校編)	A 4・ 120頁 1,631円
11	(新訂) 喫煙、飲酒、薬物乱用防止に 関する指導の手引 (高等学校編)	A 4・ 131頁 2,039円
12	みんなでいきるために —エイズ教育参考資料—	A 4・ 88頁 1,050円

13	小学校 保健の授業の改善をめざして	B 5・ 180頁 2,345円
14	児童生徒の健康診断マニュアル	A 4・ 120頁 2,039円
15	保健主事の手引	A 4・ 132頁 1,575円
16	(新訂) 喫煙、飲酒、薬物乱用防止に 関する指導の手引 (小学校編)	A 5・ 106頁 2,100円
17	薬物乱用に関する指導 指導資料 (中学校編)	A 4・ 80頁 1,260円
18	薬物乱用に関する指導 指導資料 (高等学校編)	A 4・ 80頁 1,260円

※定価(本体)に消費税5%が加算されています。

※予防医学中央会出版の3～9の図書は外税です。

※本・手帳の割引、送料は次の通りです。

☒ 1～4冊 定価+送料

5～9冊 定価(本体)の10%引き、送料無料

10冊以上 定価(本体)の20%引き、送料無料

腎臓手帳・心臓手帳・糖尿病手帳は10冊以上

定価の15%引き、送料無料

※申し込みは、直接本会あて、はがきか電話もしくはFAX  
をお願いします。

☎ (03) 3501-3785・0968

FAX (03) 3592-3898





# 学童の集団検尿に、 エームス尿検査試験紙。



エームス尿検査試験紙

## ネフロスティックズ®-L

体外診断用医薬品

バイエル・三共株式会社  
東京都中央区築地6丁目19番20号

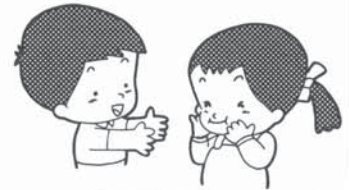
販売元：

### 三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3丁目5番1号 ☎(03)5255-7111  
〒103-8426 JU1694-S

## 育ちぎかりのひと粒!

目・歯・骨を大切に……



ゼリー状ドロップ剤

# カワイイ肝油ドロップ

 河合製薬株式会社 東京都中野区中野6-3-5



アウトソール ミッドソール 中敷  
(ラバー) (衝撃吸収材) (ラバースポンジ)  
三層式ソール

## JES(呼吸・吸圧)シューズ

### JESに学問を!

### 科学されたJES(吸圧)シューズ!



日本教育シューズ協議会

TEL(086)272-5463

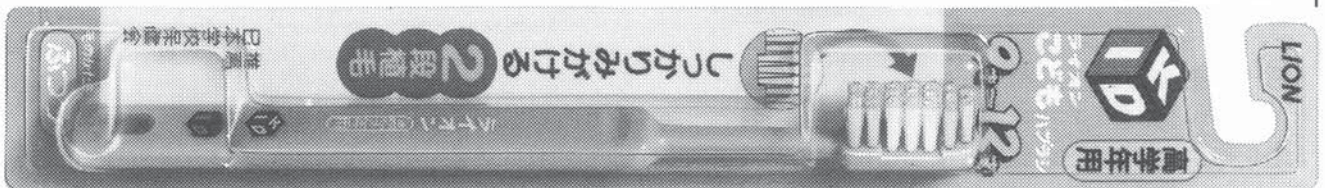
FAX(086)273-9439

## LION

# しっかりみがける2段植毛採用

●低学年用(6才~9才) ●高学年用(9才~12才)

ライオン  
こども  
ハブラシ



発行(財)日本学校保健会 矢野 亨 〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-2-20 第19森ビル 頒価1部100円(送料共)  
電話 03(3501)3785・0968  
FAX 03(3592)3898